

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年 4月 2日	記入者	吉田 朋裕	連絡先	756-3443	
平成18年度部名	教育総務部	課名	総合学習センター	課長名	木下 英雄	
平成19年度部名	—	課名	総合学習センター	課長名	木下 英雄	
事務事業名	施設維持管理費					
予算上の事務事業名	施設維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15130		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第3施策 生涯学習関連施設の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市立総合学習センター条例						
相模原市立総合学習センター条例施行規則						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼			5 事業開始年度	平成13年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
市民の学習活動の場の提供と教職員等の研究・研修の充実の為、総合学習センターを運営する。 ・施設について、火災・盗難・ガス漏れ及び不法行為を予防・排除し、かつ安全を確保する。 ・施設内外の美観を保ち、衛生的で良好な施設環境の維持。 ・施設の円滑な運営と安全及び衛生的環境の確保。				利用者数		
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。						
・需用費 13,416千円 (消耗品費・光熱水費・修繕費等) ・役務費 737千円 (電話料・施設賠償責任保険料等) ・委託料 15,075千円 (設備管理業務、清掃業務、機械警備業務等) ・使用料及び賃借料 15千円 (NHK受信料)						
《平成18年度利用実績》 利用件数・・・3,873件 利用者数・・・75,110人 開館日数・・・347日						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	29,417	29,931	29,243	32,101	32,101	
一般財源	29,417	29,931	29,243	32,101	32,101	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	0	0	0	
事業コスト合計	29,417	29,931	29,243	32,101	32,101	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	施設維持管理費			対象名称と単位	一人当たりの施設維持管理 (円)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	29,417	29,931	29,243	32,101	32,101	
対 象 数	73,868	76,667	75,110	76,612	76,612	
単位あたり経費(円)	398	390	389	419	419	
前 年 度 比		0.98	1.00	1.08	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容 (活動)を数値化したもの						

指標名と単位	利用回数	指標式と指標の説明				
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績		3,888.0	3,979.0	3,873.0		
目標		3,800.0	3,900.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0
目標達成度(%)		102.3	102.0	96.8		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの						
指標名と単位	一人当たりの施設維持管理(円)	指標式と指標の説明				
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績		398.2	390.4	389.3		
目標		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1.2 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]						
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]						
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]						
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。				
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。				
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。				
1.3 総合評価(一次評価)						
(1) 自動判定結果						
★★★★	[★★★★]:良好な状態を維持する事業					
	[★★★]:概ね良好な状況である事業					
	[★★]:見直しを行う必要がある事業					
	[★]:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)				(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市民の生涯学習活動を支援するとともに、学校教育及び社会教育の向上に必要なため、今後も現状維持を行なうことが望ましい。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持				
	<input type="checkbox"/>	・見直し				
	<input type="checkbox"/>	・廃止				
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策				1.5 課題として認識されたこと		
今後も施設のPRに努め、当センターの役割を十分に市民の方々に伝え、利用していただけるようにすることが重要であると考えている。				施設の建設が昭和50年と老朽化が目立つため、大規模な修繕をしていく必要がある。		
1.6 二次評価						
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)				(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持				
	<input type="checkbox"/>	・見直し				
	<input type="checkbox"/>	・廃止				